



NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア

2015
9月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | 二言三言～オープン1年を迎えた一関図書館～
- 4 | 団体紹介～祝い餅つき振舞隊～(一関)
- 5 | 地域紹介～花泉町金沢 菅の平地区自治会～(花泉)
- 6 | 企業紹介～うまっこの里菓子処 しばた～(千厩)
- 7 | センターの○○～インアーチ参観日 参加レポート～

オープン1年を迎えた一関図書館

対談者 一関市立一関図書館 館長 小野寺篤 さん

聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

市民の声が活かされ利用しやすい図書館

【センター長】一関図書館は昨年7月に現在地に新築移転しました。オープンして1年が過ぎましたがどのような変化が見られますか。

【館長】利用数が増えたのは当然ですが、今まで利用していない人が利用者登録をして継続的に利用するようになってきました。また、図書館の立地場所が駅前中心市街地で公共交通機関の駅にも近く、高校生の利用や買い物のついでに寄るなどの利用の仕方もあるので、場所も含めて良かったと思っています。しかし、利用されている方は決して多いわけではなく、利用登録者は市民の約30%です。実際には雑誌や新聞だけを見に来る人もいます。登録は継続的に図書館を利用していこうという表れかと思います。



一関市立一関図書館
小野寺 篤 さん 館長

【センター長】雑誌も多くフリーペーパーも置かれていて、図書館は、本を借りる所、閲覧室で勉強する所、というイメージが変わってきました。

【館長】お話しはスペースをきっちり作り定期的開催しているので、楽しみにして来る方も増えています。お母さんだけでなくお父さんも一緒に来るという利用もあって広がりが出てきました。1階にカフェを作っており、本とは直接結びつかない方でもカフェに来て休んでちょっと2階を覗いていただくことで、図書館はこんな利用もできるのかと広がりも出てくると思います。また、インターネット環境も整備しました。

インターネットでの貸出予約もできますし、持ち込んだパソコンを利用できるコーナーもあります。それから、iPadを貸し出すサービスもあります。

【センター長】近代的なサービスが充実していますね。図書館建設のワークショップがありましたが、その意見が反映されていることが大きいでしょうね。

【館長】建設に当たっては、カフェを入れる、スペースを広く取る、書架間を広く作って誰でもゆったり本を選べるようにする、読書テラスを作るなどの声がありました。皆さんの希望を形として表すことができたと思っています。また、障がいを持った方の利用に当たりユニバーサルデザインを意識して建設しました。開館1か月前に障がいをお持ちの方々の団体に見ていただき、指摘された点は可能な限り作り直しました。

【センター長】今、公共図書館ではカフェの併設や業務の民間委託などはやりがありますが、近隣の図書館を見渡してどう感じていますか。

【館長】規模によって図書館の有りようが違います。規模は小さいが温かみがあるとか地域に特化した図書館もあって当然です。例えば、花泉図書館は木で作った図書館でそれは素晴らしいものです。一関図書館は広い図書館だからこそあえて書架や並びをシンプルにするよう心がけました。また、中央館という位置づけもあるので、他館にはないデータの有料サービスや県内では県立図書館とこしかなない国立国会図書館のデジタルサービスも行っています。

【センター長】一関図書館は市の中央図書館という位置づけになりましたが、市内の図書館との連携の部分も含めて変わったことはありますか。

【館長】基本的な部分は条例や規則で定まっていますが、それ以外の細かい部分では統一しておらず、祝日の休館、開閉時間などがバラバラでしたが、中央館ができたことで統一したサービスを提供しようという前提で整理しました。

ボランティア活動が広がる図書館

【センター長】図書館ボランティアがあると聞きました

たが、新聞等で取り上げられる病院ボランティアと比べてあまり知られていないと思います。一般的には読み聞かせの人達を思い浮かべますが、どのような活動をされているのでしょうか。

【館長】ボランティアの対応はこれまで各館バラバラでしたが、今年度からは図書館サポーターとして位置づけ、統一した対応をしています。年度毎の登録制として、どのような内容にするかは各館で決めています。お話しは知られていますが、ここではバックヤードでの検品や修理の作業、パソコンの得意な人は図書館で積み重ねてきた資料をエクセルでまとめる作業もあります。花泉では今年から学生を対象にしたサポーターを受け付け、高校生に図書館のお手伝いを呼びかけています。図書館は地域の声を聞きながら運営はしますが、行政だけが運営するのではなく、地域の方が可能なところで一緒に運営する方法もあると思います。それがサポーターで、お話しやバックヤードでの作業の他、花を生ける、飾りつけの手伝いなども運営に関わる一部として可能だと思います。

【センター長】新しい公共施設のあり方として、行政だけが運営するのではなく、市民も一緒になって運営できることは理想的ですね。

【館長】行政も可能なところは取り入れることを考えていいと思います。市民センター(旧公民館)は地域密着なので地域の方とのつながりは割りと強いものです。図書館を利用される方も地域の方ですので、利用だけではなく運営に携わっていただく形での関わりもあるだろうと思います。

【センター長】見せ方がうまいと感じたのが正直な感想です。図書館サポーターがいますと前面に打ち出すと、人が足りないから市民の皆さんお願いしますと思われるのでいいですね。

【館長】ここで仕事をして図書館のいろいろな可能性に気がつきました。例えば、サポーターやカフェや実習など、本を借りる調べ物をするという以外の図書館の使い方もあるということです。現在、いちのせき若者サポートステーションの就業体験を積極的に受け入れています。人と接するのが苦手な人はバックヤードでの仕事を、そうで無い人はフロアでと、その時の状況や本人の気持ちで活動する場所を選んで提供します。そのような図書館の使い方もあり、それができるのが図書館の強みかと思っています。

地域資料の収集・保存に取り組む図書館

【センター長】オープン1年が過ぎた一関図書館ですが、今後の取り組みや抱負などをお聞かせ下さい。

【館長】図書館の仕事は、資料を集める・保管する・提供することです。その中で地域の郷土資料を収集して整理して皆さんに提供していくことは、長い目で見て図書館が皆さんに頼りにされていく事につながると思います。それを中心にしながら、新しい人にも利用していただけるように読み聞かせや企画展、中高生

の体験学習の受け入れなどをプラスアルファでやっていきたいと思っています。



【センター長】公共図書館の基本的な役割はそうなのかと思います。私も市民活動センター(以下センター)では地域の資料を収集していますので、図書館に置いていただければ提供したいと思っています。

【館長】地域の資料は将来に向かった時に貴重な資料になるので、永久保存する必要があると思います。もっと広げて、自治会の出した資料や商店街のイベント資料などは長い目で見れば地域の貴重な歴史です。そのような資料を記録として残すことは図書館の役割と思いますが、幅が広くなりすぎる心配もあります。

【センター長】センターでは各地域から収集した資料をストックしていますので、連携して取り組めたらと思います。また、市の地域おこし事業などで書籍を作っている団体もあり、それらを図書館で保存していただくことで、活動が報われるのかと思います。

【館長】図書館で保存しているのはまだまだ行政資料だけで、市の要覧や観光パンフ程度しかないのが現状です。地域に関わる資料を保存する場所は図書館しかないと思います。地域の様々な資料を広く保存することは図書館がこれから考えていかなければならない部分かと思っています。

【センター長】住民レベルの資料は貴重ですね。それと合わせてセンターで発行した資料も提供できればと思います。また、新聞記事のストックがかなりあり、いずれデジタル化したいと考えていますが、ノウハウがないので図書館と一緒にできたらいいと思います。

【館長】地域の資料はデジタル化して保存することが必要です。全国的にデジタルアーカイブスということで図書館でも取り組もうという声が生まれています。

【センター長】地域の情報を集めることはセンターの得意分野なので図書館に提供できるとと思います。一步深まる部分のお手伝いをしていければいいかと思っています。

基本情報

【一関市立一関図書館】

〒021-0884 一関市大手町2番46号

TEL: 0191-21-2147 FAX: 0191-21-2107

E-mail: toshokan@city.ichinoseki.iwate.jp

ふるまいたい 祝い餅つき振舞隊

団体 紹介



隊長 岩渕一美さん

～基本情報～

- ◆隊長：岩渕一美さん
- ◆連絡先：〒021-0901 一関市真柴字鴻ノ巣 14
- ◆電話：0191-21-2633

『一生懸命』を貫き続けて20年。これまでも、そしてこれからも。

きっかけは民謡教室の新年会

「ど～んど～んぱ～んぱ～ん♪」歌い手の景気の良い唄声に合わせて干本杵で餅をつき、最後に杵で高々と持ち上げたつきたてのお餅をお客様に振舞う。「どこかで見た事ある！」それもそのはず「祝い餅つき振舞隊」のこのパフォーマンスは今年で実に21年目、1100回を超えようとしているのです(7月現在)。

隊長の岩渕一美さんは民謡を始めて48年。平成4年頃、民謡教室の新年会で民謡を唄いながら餅をつくという余興を行ったところ、「もちりんぴっく(アイデアもち料理コンテスト)」などで知られる一関市もち食普及促進会議から、もち食普及へ力を貸してほしいと声がかかり、一関民謡保存会の仲間数人と共に平成6年6月に祝い餅つき振舞隊結成の運びとなりました。

語り尽せぬエピソード

平成26年に20周年と1000回の節目を迎え、今年は岩手日本文化賞(地域振興部門)も受賞した振舞隊。これまで北は青森から南は沖縄まで日本各地でもち食をPRしてきましたが、今年6月には台湾へ岩手県知事と同行、さらに7月には「2015ミラノ国際博覧会」にも招かれるなど、活動はさらなる広がりを見せています。

20年の間には、餅をつくスペースがなかったり、「唄わずに餅をついて下さい」というリクエストを受けたりした事もあります。風の吹き付けるスキー場のグレンデで凍えそうになったり、逆に舗装しがけの灼熱のアスファルトの上で汗まみれという大変な経験もありました。

その一方、NHK「ためしてガッテン」への出演や、最高のステージと音響装置が用意された宮崎の会場、ボランティアで被災地を訪問した時にかけて「次はお金を払うからぜひまたきて下さい」という言葉など、嬉

しい思い出もたくさんあります。一度の訪問が二回目の依頼に繋がる事が多いという振舞隊の1100回達成はまさにこうした涙あり笑いありの中での偉業と言えます。

「一生懸命」と「感謝」

「常に初心に帰って一生懸命やっている姿をお客様や家族に見せる事が大事。餅という食品を扱う以上『あいづら適当にやっているな』と思われる事は許されないし、一生懸命さが伝わるから『また来てほしい』に繋がる」こうした岩渕さんの想いは、振舞隊に共有されているだけでなく、岩渕さん自身の生き方にも表れています。

また、その一方で「振舞隊がこれまでの1100回、一度も事故がなくやってこられたのは決して振舞隊の力だけではなく、主催者・関係者のお力添えやマナーを守って参加してくれるお客様の協力があつてこそ」と岩渕さんは関係者やお客様への感謝も口にします。

「来てほしい」という依頼者の気持ちに出来る限り応えたいという振舞隊が、これまで依頼を断ったのは依頼が重なりどうしても調整出来なかった1回だけ。「料金は予算がたくさんある所からは多めに、予算が少ない所からは少なめに頂くことにしているので、まずは気軽に相談してほしい」ざっくばらんなこの言葉からは、20年以上一生懸命を貫いてきた振舞隊と岩渕さんの、自負と心意気が伝わってきます。そんな姿を見て育った娘さんやお孫さんが今では振舞隊に参加する事もあるそうで「頑張れる間は頑張りたい」と話しながらも目を細めます…

「わ～すれられないの～♪」
今日もまた祝い餅つき振舞隊がどこかで祝いの席を盛り上げています。次は皆さんの地域の番かも知れません。



ミラノ国際博覧会での様子

地域 紹介



会長：佐藤均さん(右)
事務局：菅原静悦さん(左)

～基本情報～

- ◆自治会長：佐藤均^{ひとし}さん(2期3年目)
- ◆花泉町金沢地区の北部に位置し、24世帯87人が暮らす菅の平。自治会組織を立ち上げて10年目を迎え、自主防災訓練も充実したものとなっています。

協力精神で地域を守る自治会活動

花泉町金沢地区の北部に広がる丘陵地。道路一つを隔てて一関市滝沢地区と接する菅の平集落は、24世帯87人が住む農村地帯です。集落のほぼ中央に建てられた菅の平公民館で、自治会長の佐藤均さんと事務局の菅原静悦さんからお話を伺いました。

自治会組織をつくり集落の課題に対処する

「この辺りはもともと丘陵地で耕地も少なかったのですが、昭和40年代に行われたパイロット(※須川地区国営総合開拓パイロット事業)により水利も良くなり、耕地面積も広がりました。稲作の他に果樹園芸や畜産もやっています」と佐藤さんは語ります。

菅の平地区自治会は、花泉地域では数少ない自治会組織の一つで平成18年4月に発足し、今年で10年目の活動に入りました。「当時、市の方から自治会設立の勧めについての話がありました。集落内で何回も話し合い、集落公民館などの集落組織を見直し自治会へと組織替えしようと話がまとまりました。自治会になり組織がすっきりし活動や集金がしやすくなりました」と菅原さんは語ります。

自治会は1世帯年3,000円の会費やその他の収入により運営され、運営委員会、青年部、女性部、事務局の部会を置いて事業を展開しています。会議は、3月の総会の他、運営委員会と三役会議を会長が、部会議を部会長が必要に応じて開催します。

東日本大震災の教訓を生かす防災訓練

自治会では災害時には住民の協力が必要と考え、毎年公民館を会場に自主防災訓練を行っています。内容は、消防署の指導の下での消火訓練、AED操作、災害時ビデオの視聴、炊き出し訓練などです。特に、炊き出し訓練は、4年前の東日本大震災時に水道が使えな

かったこともあり、実際に井戸から水を運んで作業するという本格的なものです。「煮炊きはプロパンガス、廃材、薪などを使いますが、水の確保がいかに大切かを実感します。訓練のための訓練ではなく、実際の場面を想定してほとんどの世帯が参加するのでいざという時に役立つ訓練をしていると思っています」と語る佐藤さん。今年は、消火訓練にバケツリレーを取り入れてより実戦に近づける計画だそうです。

また、見聞を広めることを目的に研修旅行を毎年実施しています。子どもからお年寄りまでの希望者が参加する日帰り旅行ですが、ここ2～3年は震災復興の姿を確かめるコースを取り入れて、日ごろの備えを確かめるものにしようと工夫しています。

次の世代に引き継ぐ地域の絆

古くからの強いつながりで結ばれている菅の平。活動の中心となっているのは成友会と呼ばれる青年会のメンバー達。成友会は毎年10月に公民館で行う秋祭りを盛り上げます。また、2カ所あるゴミ収集所にも成友会は工夫を凝らしています。「ほっとするゴミステーション」と命名し、健康づくりの秘訣やステーションと集落内の主な場所までの距離と歩数を記載した看板を設置し、住民が楽しめるようにしています。

「年々人が減り高齢者が多くなります。草刈りなどの共同作業も困難になるでしょうが、集落の事は集落でやるという結束力がここにはあります」と佐藤さん。若い世代を中心に楽しみを生かした活動を引き継ぎ、これからも共助の精神で地域を守っていくことでしょう。



ほっとするゴミステーション看板

うまっこの里菓子処 しばた

企業 紹介



店主 柴田 健二さん

～基本情報～

- ◆店主兼菓子職人：柴田 健二 さん
- 【旭町本店】
- ◆連絡先：一関市千厩町千厩字町浦 9-20
- ◆電話：0191-52-2062
- 【エスパia店】
- ◆連絡先：一関市千厩町千厩字東小田 90
- ◆電話：0191-53-3171

真心一貫～先代の思いを引き継ぐ商店経営と新たな挑戦～

地域に支えられ愛される地元の銘菓

千厩町千厩の商店街は古くは三陸沿岸と内陸部を結ぶ気仙沼街道の主要道として、また周辺地域は葉タバコはじめ養蚕の主要生産地として栄えていたので、旧東磐井郡内の娯楽街として多くの商店や飲食店が立ち並び大変賑わっていました。現在の町中は、旧専売局千厩葉煙草専売所の建物を利用した「せんまや街角資料館」はじめ、国の登録有形文化財の佐藤家住宅や横屋酒造など明治大正期の建物が数多く、タイムスリップしたかのような大正ロマンが味わえます。

立ち並ぶ商店街メインストリートから裏路地へ入ると通称旭町商店街があります。ここに千厩町銘菓と謳われる“駒サブレ”をはじめ、地元の歴史や名産に因んだ和洋菓子を製造販売している“菓子処しばた”が誕生したのは、昭和38年4月のことでした。

戦前戦後の困難に立ち向かいながらも、一代で築き上げた先代を「感謝の心を常に持ち、地域の方々との交流を大切にしていました」と語るのは、二代目店主で菓子職人の柴田健二さんです。「地域力が活かされる時代だった」と振り返ります。

人と人を結ぶクリスマスケーキ

「向き合うのは、いつの時代も人と人なんですよ。『お世話になりました。これからもよろしくお願います』そんな会話の中に、私が作った和洋菓子がつなぎ目となり、新しい出会いを作ったり、思い出を残したりと、少しばかりのお手伝いです」

同菓子店を開業後、「地域に日頃の感謝を」と考えていた先代は、まもなく町内の特別養護老人ホームへの慰問活動を夫婦ではじめました。「まだまだクリスマスケーキというのは物珍しい時代。地域を支えてくれた

方々、人生の先輩方一人ひとりへ思いを込めてケーキ作りをしていました」そんな父の姿を見ていた現店主の柴田さんは、県外や一関市内の菓子店で修業した後、昭和46年、当時流行りの喫茶店を併設した千厩本町店を任せられ、地元酒造とのコラボレーション菓子等新商品の開発に力を入れてきました。

「父が何十年と慰問活動を続け、『ありがとうと言われるのではなく、ありがとうと言いながらケーキを手渡す』その活動は、私は義務ではなく真心一貫引き継いでいこうと決めていました」現在も町内の特別養護老人ホームへの慰問活動は世代を越えて引き継がれているのです。

課題解決のための挑戦は続く

平成4年大店法改正によって郊外型大型店の出現により以前のような活気が減少傾向にあったのは千厩町も例外ではありませんでした。せめて、商店街に店を構える地元の店が協力して雇用を生み、支え合える方法は？と、その課題に向き合った有志数名で立ち上げた、地域そのものに潤いと雇用の場の確保、そして商店街の店主が運営できる地元主導型のショッピングモールエスパiaが開店したのは平成11年のこと。

「大手企業の大規模ショッピングセンターではダメだ」という思いが強かった。だからこそ困難もありました。本当は商店街の活性そのものが一番と考えていますし」と言葉を少し濁した後「今も何か方法がないかと探っているところなんです」と、商店経営者の一人として地域発展のため新たな挑戦を続けようとする意志が伝わってきました。





センターの〇〇!

— インアーチ参観日 参加レポート —

市内各地域・各分野で活動する市民活動の連携を促進し、有益な情報交換・情報提供の実施などを通じて、各団体の成長へと繋げることを目的に活動している「いちのせき市民活動促進会議インアーチ」では、平成27年度から団体同士の相互理解と交流を図るため「インアーチ参観日」を開催しています。

7月は北上川の活用を通じて地域の活性化に取り組む、NPO法人北上川サポート協会さんを訪問し、川崎防災センターの内部を見学したり、船に乗ったりと、団体の取り組みや北上川に関する理解を深めました。

1 川崎防災センターにて



団体
紹介

団体の活動拠点である川崎防災センターは、一関市から指定管理業務委託を受け、地域の方々に親水活動の交流施設として利用されています。

施設には調査船ゆはずの格納庫や研修室があり、夏は親子レク等でカヌー体験に来る方も多そうです。棚に積まれた親水用具に、皆さん興味津々です。

2 船に乗り、北上川を体感



体験
乗船

レクチャーを受けた後は、木船の長生丸とゴムボートのかわさき1号にいざ乗船！北上川の説明を聞きながら、10分間ほど遊覧しました。また、川で溺れた人の救助の仕方や、川っ子まつりについてのお話を聞いたほか、ゴムボートをトレーラーに引き揚げる所を見学させていただきました。

3 有事の際に役立つ！ロープワークを学ぶ



講習会

事務局長の金野さんより、日常生活に利用できるロープの結び方、川が氾濫した時の救助法等、ロープを使って①助ける方法・②助かる方法を教わりました。複雑な結び方を次々に見せる金野さんの手つきに、皆真剣な眼差しです。リクエストに応え、トラックの荷台のロープの結び方も学びました。

4 流しそうめんとBBQ!



昼食

お昼は流しそうめんとバーベキューで親睦を深めました。北上川サポート協会さんに食材や道具を準備していただき、参加者の皆さんは、空の下、開放的な気分で交流を楽しみました。

最後は、北上川サポート協会さんの挨拶で参観日が締めくくられ、拍手で幕を閉じました。

北上川サポート協会さんの参観日を終えて

参加者の方から、防災ステーションの設備や備品について「こんなものがあるのは知らなかった」、体験乗船では「北上川について勉強になった」という声上がるなど、多くの発見がある有意義な時間となりました。

インアーチは、一関・両磐地域で活動する市民活動団体はもちろん、市民活動に興味がある個人や企業の方の参加もお待ちしております。

おしらせ

一関 まちづくりコーディネーター 養成講座

第3回となる今回の講座は、規約と事業計画の作り方について。地域づくり活動等を行っていく上では事務的な作業も発生してきます。規約や事業計画等の作り方をこの機会に改めて確認しましょう。

【日時】 平成27年9月5日(土) 9時20分~12時
【場所】 なのはなプラザ4階共同会議室
【料金】 2,000円(全6回)
【問合せ】 いちのせき市民活動センター
【電話】 0191-26-6400

千厩 千厩きもの物語

虫干し感覚で千厩のまちにおでかけしませんか?着付け舞鑑賞、琴演奏会、馬車に乗って本町通り散策、着物掘り出し市等、着物を愉しむのにびつたりなメニューをご用意しております。

【日時】 平成27年10月10日(土)
【場所】 酒のくら交流施設
 受付: 9時30分~10時
【料金】 500円(集合写真、馬車乗車券付)
【申込・問合せ】 千厩着物虫干し会
 ※申込締切 10月6日(火)
【電話】 0191-52-2043(代表:伊藤)

一関 “萩荘の里を歩こう!” 健康ウォーク 2015

健康づくりは歩くことから!!子供からお年寄りまでみんなで参加し、出会いとふれあい、地域間交流を深めながら、萩荘地区の文化・自然・歴史に親しみましょう。先着300名様に、記念品とコースマップ、飲み物をご用意いたします。

【日時】 平成27年9月13日(日) 8時30分受付開始
【場所】 一関市立萩荘小学校 スタート&ゴール
【料金】 参加料無料
【問合せ】 萩荘地区まちづくり協議会
【電話】 0191-24-2325(萩荘市民センター)

川崎 第21回Eボート大会

ボート競技はもちろん、交流ツアー、水に親しむ自然実習などで楽しむことを通じて、地域と地域のつながり、自然と人間の関わりなどを考えてみませんか。当日午前7時から熱気球係留体験搭乗(料金:大人1,000円、子供500円)も行われます。なお、大会運営に協力できる方も募集しています。

【日時】 平成27年9月13日(日) 9時~16時(小雨決行)
【場所】 北上大橋付近の北上川
【料金】 見学は無料 ※参加費1チーム(小学5年生以上の10人で構成)10,000円
【問合せ】 NPO法人北上川サポート協会
【電話】 0191-36-5666

花泉 花泉フェスタ&消防祭

一関市では花泉フェスタ&消防祭を開催します。当日はフリーマーケットや農産物等直売コーナー、バルーン&マジックショー、一関のご当地キャラとジャンケンショー、フラダンスショー、スタンプラリーの開催など盛りだくさん。イベントステージでは松本哲也ミニライブを行います。消防祭では緊急車両展示や乗車体験もあります。

【日時】 平成27年9月21日(月・祝日)9時30分~15時
【場所】 花と泉の公園
【料金】 入場無料
【問合せ】 花泉支所地域振興課
【電話】 0191-82-2211

大東 大東ふるさと分校

アストロ・ロマン大東と室根高原牧場の間にある自然体験学習施設です。アウトドアスポーツをテーマとした各種体験メニューを準備。また、バリアフリーとフィジカルチャレンジを考え身障者の方でもボードウォークを利用し自然を満喫することができます。

【所在地】 一関市大東町大原山山口51-161
【利用時間】 9時~20時 休業日/毎週火曜日
【電話】 0191-72-3125
【FAX】 0191-72-3103
【その他】 施設を利用する際に予約が必要な場合があります。

室根 室根神社祭マツリバ行事

旧暦閏年の翌年開催。昭和60年1月、国重要無形民俗文化財の指定を受けました。室根を中心に隣接する地域から氏子約1,000人が参加して熱く盛り上がります。

【開催地】 一関市室根町折壁字室根山
【開催期間】 10月23日(金)~10月25日(日)
【問合せ】 一関市室根支所産業経済課
【電話】 0191-64-3806
【FAX】 0191-61-2100

東山 第15回唐梅館絵巻

天正18年に、小田原参陣の評定として豊臣秀吉に従うか否かを決定する軍議が行われました。鎧武者による参上行列や一族の運命をかけた「軍議」の様子を再現します。

前日の土曜日には、長坂商店街において地元青年部による前夜祭が開催されます。

【日時】 平成27年9月26日(土)~27日(日)
【場所】 唐梅館総合公園
【料金】 参加料 一般武将2,000円、騎馬武将30,000円 見物料無料
【問合せ】 東山支所産業経済課
【電話】 0191-47-4525

藤沢 古民家マルシェ

古民家を会場に手作りの品を展示、販売します。黄金に輝く田園風景の中の古民家。築150年の歴史と心のこもった手作りの品々、そしてゆっくり流れる時間をどうぞお楽しみください。

【日時】 平成27年9月12日(土)~13日(日) 10時~16時
【場所】 農家民宿ほろはの家
【料金】 入場無料
【問合せ】 菊千
【電話】 090-5185-8314(菊地)

今月の表紙



花泉町日形地区の北上川に架かる北上橋(写真上部中央)。その橋のもとに広がるヒマワリ畑は、夏を感じられる絶好のポイントです。太陽の光を浴びて元気よく花咲くヒマワリ(向日葵)の花言葉は、「私はあなただけを見つめる」です。

Q&A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q よくワークショップで使っているペンって何?

A いちのせき市民活動センターがワークショップなどで使用しているペンの名前は「ブロッキー」です。「ユニ ブロッキー ツイン」というのが製品の正式名称です。模造紙と一緒に持ち歩いて、様々な話し合いで出して頂いた意見を書きながら構造化していく「ファンリテーション・グラフィック」という手法で話し合いの支援を行っています。

